

地域における口腔ケア・介護予防等をテーマとした講演会を行いました

2015 平成 27 年 3 月 30 日の午後 6 時から、魚沼市小出ボランティアセンターにて開催された地域医療魚沼学校講演会において、当プログラムスタッフの井口清太郎先生と鈴木翼先生が、地域における口腔ケア・介護予防などをテーマとした講演を行いました。

地域医療魚沼学校は、新潟県魚沼市において、ヘルスケアセクター・行政・住民参加による、医療を核とした地域再生を目指す新たな構想として結成されました。医療従事者研修専門職種間連携教育事業「楽語り講座」の開催などの取り組みを行っています。

当日は医療関係者だけでなく、たくさんの市民の皆さんにもご参加頂きました。

講演会では、まず鈴木先生が、「ソーシャルキャピタルと健康 ～地域から介護予防をはじめよう～」のタイトルで講演しました。これからの超高齢社会をむかえるに当たり、若い世代が高齢者を支えるというモデルには限界があり、社会全体が絆でささえあう、ソーシャルキャピタルをベースにしたモデルが超高齢社会をのりきる一つのキーワードになる、魚沼市はその先魁になり得る、と話されていました。



井口先生からは、「超高齢社会を迎え、今からできること」と題して話しました。これからの超高齢社会に向き合っていくにあたり、自らがどれだけよりよい終末を迎えられるかを考えていくことが、よりより生き方に繋がっていくのではないかと、実践していくことが超高齢社会を迎える中での幸せとなるのではないかと、していました。その点においても、当プログラムの魚沼市でのアンケート結果からは、魚沼地域の人々の暮らしぶりは日本のこれからのロールモデルとなり得るのではないかと結論づけていました。

これからも、このような形でも私達の成果を発信していきたいと思えます。

